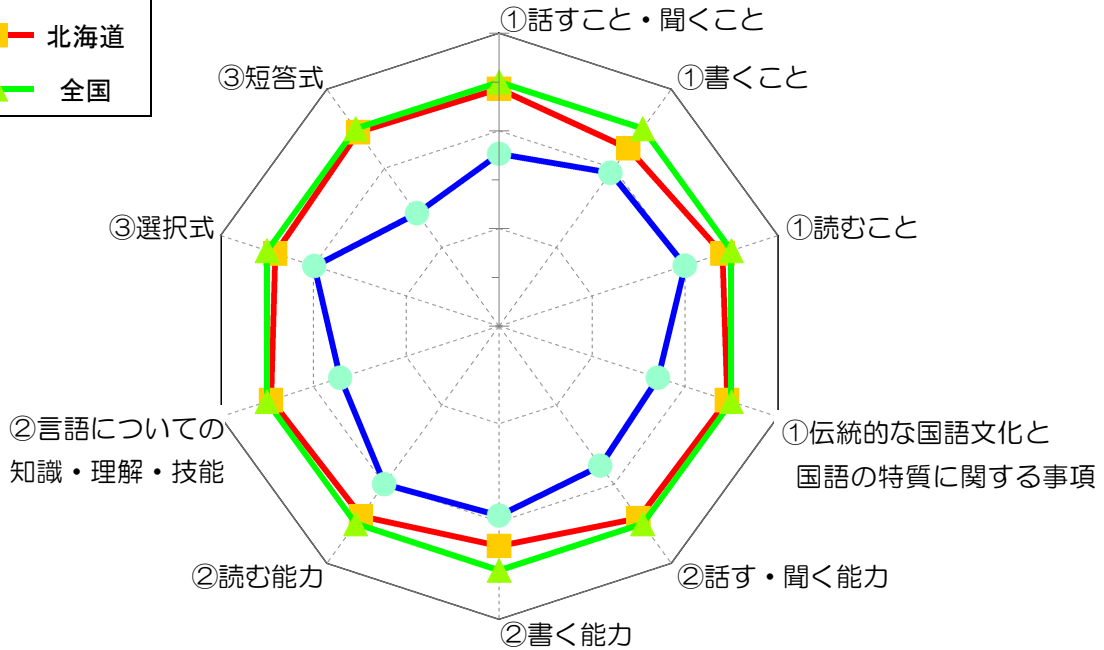
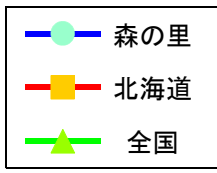


国語Aについて

成果
読む力

課題
話す・聞く力
言語の力

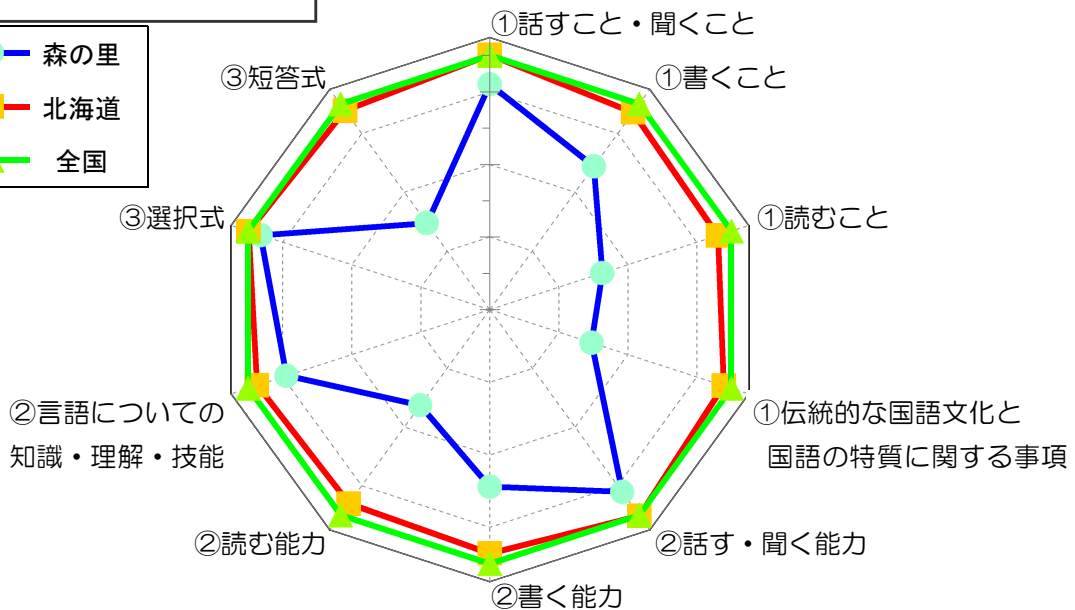
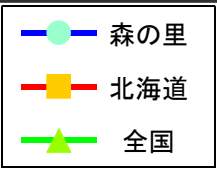


全体的に全道全国と差があるものの「読むこと」については最も差が小さかった。一方で「話す・聞く力」については差が大きくなっており、教科を問わず日常の学習活動において、「話すこと」と「聞くこと」の一体感ある指導の継続が求められている。また、校内研究で進めている「学び合う学習」の継続と工夫改善の必要が求められている。「言語に関する知識・理解・技能」については、基礎学力の確実な習得に関する学習時間の確保と学習指導の工夫改善を図るとともに、全校で計画的かつ組織的に取り組んでいく必要がある。

国語Bについて

成果 話す・聞く力

課題 読む力



国語Aで課題がみられた「話す・聞く力」について国語Bでは全道・全国に近い結果となった。国語Aに関する基礎・基本の定着を図ることで、全道・全国を上回ることが期待できる。一方で、「読む力」については、国語Aの結果と逆になっていることから、基礎基本のより一層定着を図りながら、文章の内容を的確に押さえ、要旨を捉える力を身に付けさせる力を向上させるとともに、読書活動の充実を図っていく必要がある。